

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここぶらすけやき通り		
○保護者評価実施期間	令和8年1月25日	～	令和8年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 49人	(回答者数)	25人
○従業者評価実施期間	年 月 日	～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日	～	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援ここぶらすけやき通りをご利用のご利用者様の保育所等訪問支援へ向っていますので、療育との連携が図れています。	訪問支援の中で見えた課題を、事業所の職員に共有し、支援に活かしていけるようにしています。	通所での利用が無い方についても、ご希望があれば受け入れを行っていきます。
2	訪問時の記録は、お子様の様子や先生や友達との関わりについて具体的に記入するよう心掛け、園や学校での様子が詳しくわかるように対応しております。	活動中や授業中だけでなく、色々な場面を見させていただくようにしております。	訪問支援の対応の仕方など、お子様によって工夫し、お子様の負担にならないように先生方と話し合っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用者によっては、訪問先の先生方の相談に対して助言がすぐに出来ていないこともあります。	ご利用者によって発達個人差もあり、園(集団)と療育(小集団・個別)など環境によってご様子が違うと思います。様々な視点で支援の検討が必要と感じます。	訪問後に現場での情報共有を行い、心理士を含めた支援の検討会を行い、訪問先からの相談に対して様々な視点での意見を含めた助言が出来るよう取り組んでいきます。
2	園や学校の先生と、課題やねらいを共有する時間や会議などの共有できる場が少ないと感じます。	相談支援事業所の相談員を巻き込んでの実施が難しい。	訪問先に聞き取りを行い、目的や支援方法などを共有していけるように関係機関(相談支援事業所・保護者含む)で会議を行って行きます。